

2-P-15

## 統合カリキュラムにおける保健師基礎教育の課題から考える選択制教育のあり方

中田涼子  
井上清美 奥野久美子

【はじめに】看護学科では平成24年度から新カリキュラムとなり保健師養成教育は選択制となった。看護師と保健師の国家試験合格を目指す保健師課程選択者にとってより効果的な教育内容を検討するため、統合カリキュラムにおける基礎教育の課題を明らかにする。

【目的】統合カリキュラムで学修した卒業生が新任期に実感する保健師基礎教育における課題を明確にする。【方法】保健師として勤務する卒業生5名を対象に、フォーカスグループインタビューを行った。本学研究倫理委員会承認後研究を開始した。【結果】抽出された項目は、学修して役立った内容：「基礎知識」「演習と実習での家庭訪問におけるアセスメント・計画立案・展開」「健康教育の実践」「看護研究演習」等。不足していたあるいは強化して欲しい内容：「特定保健指導の計画立案・指導」「パソコン操作の基礎から応用」「乳幼児の発達におけるスクリーニング」「複合的な課題をもつ事例対応」「優先順位の判断根拠」「コミュニケーション技術」等。勤務する中で困っていること：「根拠となる資料作り」「具体的な保健指導」【考察】基礎教育での課題として、基本を中心に対象に応じて柔軟に適用できる考え方や方法について、ロールプレイや事例を通して考えを深める演習の重要性が示唆された。特に、コミュニケーション技術については、面接や保健指導内容と合わせて強化すべき内容であり、具体的な体験学習が重要と考える。

2-P-16

## 全学FDを実現する「動的カリキュラムマップ」の構築

高松邦彦  
村上勝彦 上田國寛

近年、中央教育審議会の答申により、高等教育では履修系統樹、すなわちカリキュラムマップの作成が求められている。本学もこれに従い、Faculty Development (FD) 活動でカリキュラムマップを作成してきた。

一度作成したカリキュラムマップに対してPDCAサイクルを用いて更新し続けることが重要である。しかし、カリキュラムマップの更新作業には、教員への負担が大きいため、更新を続けることが難しく、全国の大学の課題としてあげられている。

本研究グループは、これまでネットワークの可視化に関する研究を行ってきた。本研究では、これまで開発してきたプラットフォームをカリキュラムマップに応用する。既存のカリキュラムマップを、「静的なカリキュラムマップ」として新たに定義する。これに対し、以下に述べる方法で授業間をネットワークとして可視化させ、これを「動的なカリキュラムマップ」として新たに定義した。各シラバスをベクトル空間モデルとして形式化し、空間内の各元(授業)に対して任意の2つに対するコサイン類似度を、それらの授業間の類似度とした。これにより、更新が継続的になる動的なカリキュラムマップを構築した。